

平成25年度 事業報告書

学校法人 新渡戸文化学園

1. 法人の概要

・設置する学校 (平成25年5月1日現在)

(単位：人)

| 学 校 | 学科・専攻等 | 収容 定員 | 在学 者数 | 専任教職員数 | | |
|----------------|---------|----------|----------|--------|----|-----|
| | | | | 教員 | 職員 | 計 |
| 新渡戸文化子ども園 (共学) | | 110 | 131 | 15 | 1 | 15 |
| 新渡戸文化小学校 (共学) | | 320 | 319 | 17 | | 18 |
| 新渡戸文化中学校 (女子) | | 240 | 46 | 7 | 1 | 7 |
| 新渡戸文化高等学校 (女子) | 全日制 普通科 | 425 | 129 | 10 | | 11 |
| 新渡戸文化短期大学 (共学) | 生活学科 | 160 | 173 | 22 | 6 | 28 |
| | 食物栄養専攻 | 100 | 104 | | | |
| | 児童生活専攻 | 50 | 42 | | | |
| | 専攻科 | 192 | 221 | | | |
| 臨床検査学科 | | | 11 | 5 | 16 | |
| 事務局 (給食を含む) | | | | | 21 | 21 |
| 合 計 | | 1,597 | 1,165 | 82 | 34 | 116 |

・役員および評議員 (平成25年5月1日現在)

| 役職名 | 氏 名 | 説 明 |
|-------|-------|--|
| 理事長 | 豊川 圭一 | 就任日 平成19年4月1日、任期平成26年5月31日 |
| 学園長 | 森本 晴生 | 就任日 平成20年4月1日、任期平成28年3月31日 |
| 常務理事 | 林 徹 | 就任日 平成23年4月1日、任期平成29年3月31日 |
| 理 事 | 8 名 | 法人の事業に貢献4名、評議員の互選3名、短大学長1名 (理事長、学園長、常務理事を含む) |
| 監 事 | 2 名 | 学外者2名 |
| 評 議 員 | 21名 | 教職員から5名、卒業生から2名、法人に関係ある学識経験者9名、 理事の職にある者(評議員の互選3名を除く)5名 |

2. 事業の概要

| 当該年度の事業項目 | 事業の目的、概要 |
|---|--|
| 子ども園 ・保育体制の拡充 ・保育内容の充実 | ・保育体制の拡充 長時間保育部分の人的・物的環境と保育内容の充実を図った。 1歳児以下の保育に関し検討を開始した。 ・保育内容の充実 プロジェクト会議等により、組織力向上を推進した。課外体操教室を開始した。 ・学園一貫教育を意識した子ども園・アフタースクール・小学校との連携強化 小学校、アフターと定期的な情報交換を行った。 ・長時間預かり園児シェアの更なる向上及び募集人員の確保 26年度入園者数65人 うち長時間保育25人 (25年度入園者数55人 うち長時間保育21人) |
| 小学校 ・教育内容の充実 ・学園各校との連携強化 | ・教育内容の充実 小中高教科会の推進、担任配置の見直し及びマルチライセンス教員採用を行った。 ・中学内部進学推進策強化 中学への内部進学を強力に推進し、前年度2名から9名(男子3名女子6名)に増加した。 ・自己啓発・研修等による学習指導力強化 教科指導を充実させ新任教員研修、マナー研修等を行った。 ・学園一貫教育を意識した子ども園・アフタースクール・中学・高校との連携強化 中高との合同職員室による日常的な交流、アフター宿題指導の計画を立案し26年度実施を目指す。 ・募集活動の強化 アフタースクール等新機軸の取り込み、募集パンフレット一新し、外部説明会展示の見直しに向け検討した。 ・キャリアマザー支援を中心とした募集活動強化及び募集人員の確保 26年度入学者数60人(25年度入学者数62人) |

| | |
|--|--|
| <p>アフタースクール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者増加対応 ・保護者等からの信頼確立 | <ul style="list-style-type: none"> ・25年度一日平均利用者数 前年の28.8人から53.2人へと上昇した。 ・3年生以上の利用率向上 前年比 3年生2.3人が6.1人、4年生0.1人が1.0人と向上した。 ・学園一貫教育を意識した子ども園・小学校・中学・高校との連携強化 子ども園とは教職員採用時の面接連携 小学校とはクラブコーチをアフターと同じコーチを採用し情報共有した 中高とは剣道部との連携等を行った。 短大とは学生をスタッフとして採用し、研修講師に短大教員採用した。 ・預かりサービスの質の向上 アレルギー研修会などに参加した。また、台風等で小学校休校時にも開室した。 ・小学校募集活動の一貫として小学校外部相談会に参加し、連携強化した。 |
| <p>中学校</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・小学校からの内部進学推進策強化 内部進学者数が前年の2人から9人に増加した。 ・自己啓発・研修等による学習指導力強化 相互授業評価・教科会議・講師指導等を行った。 ・学園一貫教育を意識した子ども園・小学校・高校との連携強化 アフターの宿題指導・剣道及び小学校の清掃活動・授業交流等を行った。 ・募集活動の強化 26年度入学者数20人（25年度入学者11人） ・中高一貫シラバス等取り組み強化 教科会で検討を行った。 ・男女共学化対応 研修会実施等を継続して行った。 |
| <p>高校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育強化 | <ul style="list-style-type: none"> ・キャリアデザイン・医療系特色ある新コース制度運営強化 TOEIC、看護等の特色ある授業を行った。 短大教員による授業開始に向け準備した。 ・自己啓発・研修等による学習指導力強化 相互授業評価・教科会議・講師指導等を行った。 ・学園一貫教育を意識した子ども園・小学校・中学との連携強化 子ども園での保育実習、アフターの宿題指導・剣道、小学校の清掃活動・授業交流等を行った。 ・募集活動の強化 26年度入学者38人（25年度入学者42人） ・中高一貫シラバス等取り組み強化 教科会の検討を継続した。 ・卒業生同期会の組織化検討 同期会の定期開催、成人の会を企画した。 ・アンケート等による保護者からの意見収集とその対応 学年末にアンケートを実施した。 |
| <p>短大(共通)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就業力育成と就職支援強化 ・自己点検評価の継続 | <ul style="list-style-type: none"> ・就業力育成と就職支援強化 「新渡戸フォリオ」として学生・教員ともに活用を開始した。 ・FD・SD活動の充実及び第三者評価による適格認定を受けた。 ・学園一貫教育を意識した高校との連携強化 26年度高校での授業開始に向け準備した。 ・将来構想策定 短大の学科運営のあり方についての答申提出に向け、鋭意準備した。 ・質及び量両面での定員確保の安定化 26年度入学者数 食物栄養専攻87人 児童生活専攻55人 児童生活専攻科41人 臨検学科72人 計255名（25年度256人） |
| <p>短大(生活学科、専攻科)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域貢献 ・併設校との連携 ・コース制充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・食物栄養専攻 学園一貫教育を意識した「食育」等の実践及び取り組みを強化した。 キャリア支援・就業力強化のための参加体験型・資格取得型プログラムを充実した。 栄養士キャリアアップ講座の充実を図った。 ・児童生活専攻 個別指導の徹底と資格取得の意識向上を図った。 ・専攻科児童生活専攻 コース制の人数制限による専門性意識向上を図り、子ども園でのインターンシップを通じ、実践力強化を図った。 |

| | |
|-----------------------------------|--|
| 短大（臨床検査学科） | <ul style="list-style-type: none"> カリキュラムの見直し・充実（国家試験合格率向上3年化計画…2年目） 国家試験合格率98.8%となった。 専門領域の更なる取り組み推進 心電図読解について順調に効果が出ており、実習病院での学生の評価は高かった。また、医学英語は大学への編入の際に役立っている。 |
| 子ども教育研究所 ・紀要発行 | ・特になし |
| 臨床検査研究所 ・公開講座開催 ・紀要発行 | ・臨床検査研究所紀要を発行した。 |
| 新渡戸・森本研究所 ・歴史資料の収集 ・資料収集の継続 | <ul style="list-style-type: none"> 歴史資料の収集・整理の継続を行った。 関連の研究機関、資料館などとの交流継続を行った。 |
| 法人 ・学園環境の整備 ・学園制度改訂 | <ul style="list-style-type: none"> 空調改修工事（1号館）、調理実習室改修 臨床検査学科改修（教務室、学生ロッカー設置他） ホームページ第3次更改（子ども園） インフラシステム刷新（評価システム） 人事制度改定（就業規則改正） 36協定改定（変形労働時間導入等） |

3. 平成25年度理事会等の開催状況

| 日時 | 会議 |
|-------------|----------|
| 平成25年5月27日 | 理事会・評議員会 |
| 平成25年9月10日 | 理事会 |
| 平成25年12月10日 | 理事会 |
| 平成26年3月11日 | 理事会・評議員会 |

4. 財務の概要

- 消費収支の推移

（単位 百万円）

| | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 |
|--------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| A. 帰属収入 | 1,403 | 1,431 | 2,769 | 1,487 | 1,517 | 1,597 |
| B. 基本金組入額 | 0 | 66 | 0 | 0 | 64 | 110 |
| C. 消費収入(A-B) | 1,403 | 1,365 | 2,769 | 1,487 | 1,453 | 1,487 |
| D. 消費支出 | 1,481 | 1,424 | 1,625 | 1,425 | 1,434 | 1,550 |
| 純資産の増減(A-D) | -78 | 7 | 1,144 | 62 | 83 | 47 |